

ASEAN 大使通信

第 13 回 信頼のパートナー

2023 年（令和 5 年）12 月 27 日



日本 ASEAN 友好協力 50 周年特別首脳会議・総理夫妻主催晩餐会
（2023 年 12 月 16 日、写真：内閣広報室提供）

12 月 16 日～18 日、[日本 ASEAN 友好協力 50 周年特別首脳会議](#)が東京で開催されました。初日は迎賓館での総理夫妻主催晩餐会、翌日はホテル会場での首脳会議、記者発表とガラディナー、最終日は経済団体主催の昼食会、皇居での天皇皇后両陛下との茶会が全体日程で、その間に首相官邸でのアジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）首脳会合、二国間首脳・外相会談などの個別行事も多数開催されました。私も東京に出張して、成果文書の交渉を担当するとともに多くの行事に出席し、歴史的な会合の現場の熱気を感じることができました。

今回の大きな成果は、日 ASEAN 首脳が共同ビジョン・ステートメントと実施計画を採択し、「信頼のパートナー」として、次の 50 年に向けて協力を深化させると確認したことです。

今月はそれに先立って、ASEAN の日米中印に対する認識調査結果発表への出席、次期 ASEAN 議長国ラオスへの出張、ASEAN 会との懇談会も行いました。今回の大使通信で、一連の行事と成果を皆さんと一緒に振り返りたいと思います。



FPCI 主催インドネシア外交政策会議（CIFP）2023
分科会「巨人の中で生きる」（2023 年 12 月 2 日）

●ASEAN 諸国民の日米中印に対する認識調査

12 月 2 日、当地シンクタンク FPCI が主催しユースを中心に約 1 万人が参加する[インドネシア外交政策会議（CIFP）2023](#)が開催されました。その[分科会「巨人の中で生きる」](#)で、FPCI と ERIA が共同で本年 8 月～9 月に実施した[「ASEAN 諸国民の日米中印に対する認識調査」](#)の結果発表が行われ、私も出席しました。

この調査結果によれば、日本は ASEAN にとって最も好ましい存在と思われており、日本は「最も信頼できる」「最も頼りになる」「最も尊敬・信用できる」「最も国際法を遵守する」「ASEAN 中心性を最も一貫して支持する」「地域でソフトパワーを最も発揮している」「ASEAN のイニシアティブと枠組みに最も忠実である」「ASEAN の原則に最も沿っている」の項目でいずれも 1 位でした。この結果について、パネリストからは、「福田ドクトリンを貫いたことが最大の理由である」「ODA などの支援が大きく貢献した」といった分析が行われました。

私はフロアから、日本はこの結果を当然視することなく、今月開催予定の日 ASEAN 特別首脳会議を機に取組を一層強化するとのメッセージを伝えました。



トンパン・ラオス外務副大臣との会談（2023 年 12 月 5 日）

●ASEAN 次期議長国ラオスへの訪問

翌週の 12 月 4 日～6 日、来年の ASEAN 関連会議に向けて準備を進めるために、次期議長国ラオスを初めて訪問しました。首都ビエンチャンの空港に着くと、日本とラオスの国旗の[石碑](#)がありました。調べてみると、日本は空港ターミナルビル拡張工事を支援していました。大いに活用されていて嬉しく思いました。

ラオスでは、トンパン外務副大臣（SOM リーダー）、アルンケオ元首相府付大臣、サヤカーン外交クラブ会長（元 ASEAN 事務次長）と[会談](#)して、ラオスの次期 ASEAN 議長国としての優先事項や、ASEAN の主要課題に関する方針を伺いました。ラオスは 1997 年の ASEAN 加盟以来、既に 2004 年と 2016 年の 2 回議長国を経験しており、その経験を最大限に活用して万全の準備を進めていることが良くわかりました。

ラオスの次期 ASEAN 議長国のテーマは「ASEAN：連結性と強靱性の向上」です。既に[ウェブサイト](#)が立ち上がり、[テーマの基本方針や 9 つの優先課題](#)が提示されています。今回の日 ASEAN 特別首脳会議の成果も生かして、積極的に貢献していきたいと思います。



ASEAN 会との懇談会（2023 年 12 月 8 日）

●日本企業の日 ASEAN 協力への貢献

12 月 8 日には、ASEAN 会の皆さんを公邸にお招きして、日 ASEAN 特別首脳会議の準備状況をご報告し、意見交換を行いました。ASEAN 会は、日 ASEAN 協力を後押しするために在ジャカルタの日本企業により、2011 年の ASEAN 代表部設置と同時に発足した集いです。

本年年初より、ASEAN 会の皆さんをはじめ当地の日本企業から、日 ASEAN 友好協力 50 周年に際しての一連の行事に貴重なアドバイスとご協力をいただきました。特に、8 月の「[ASEAN 日本人商工会議所連合会 \(FJCCIA\) と ASEAN 事務総長との対話](#)」への参加、9 月の「[日 ASEAN フェア](#)」へのブース出展、11 月の「[輝ける友情ウォーク&ラン](#)」へのブース出展と賞品提供、「[ジャカルタ日本祭り](#)」の運営、「[JETRO 主催 ASEAN セミナー](#)」への参加などを通じて、ASEAN における日本の存在感を高めるとともに、ASEAN と日本の架け橋となっていただき、本当にありがたく思っています。

ビジネスは日 ASEAN 関係強化のエンジンです。これからも連携を一層進めていきたいと考えています。



アジア次世代リーダーとのネットワーキングランチ（2023 年 12 月 16 日）

●ヤング・Z 世代ビジネスリーダーズサミットと経済共創フォーラム

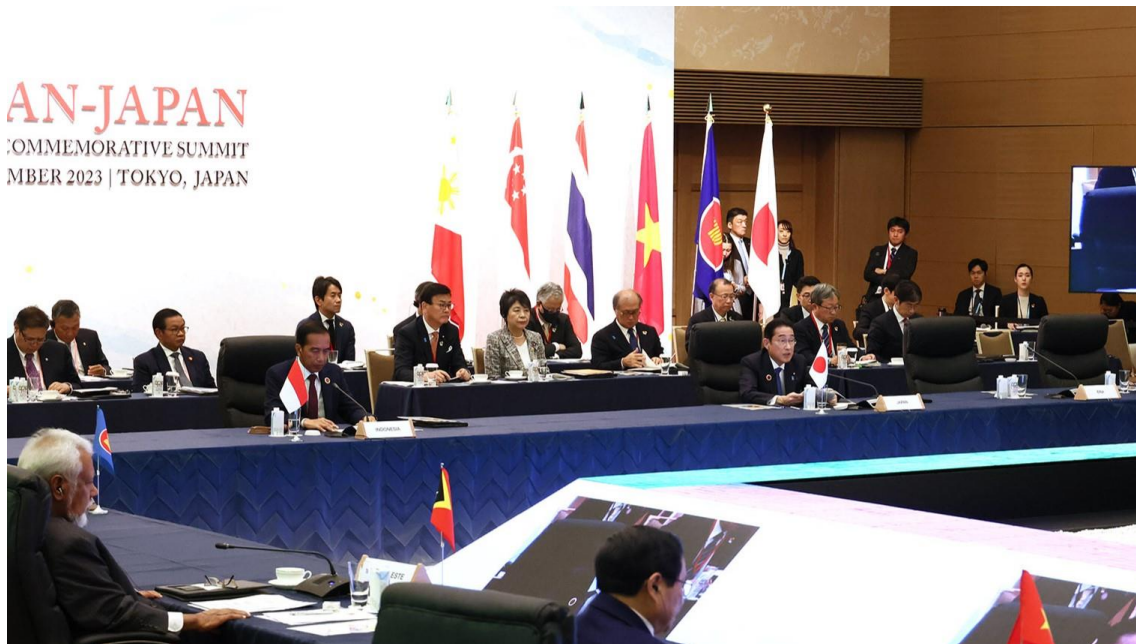
日 ASEAN 特別首脳協議のプレイベントとして、12 月 13 日～15 日に軽井沢で [日 ASEAN ヤング・Z 世代ビジネスリーダーズサミット](#)、16 日に東京の六本木ヒルズで [日 ASEAN 経済共創フォーラム](#)が開催されました。

ヤングビジネスリーダーズサミットでは若手経営者が 13 日～14 日に、Z 世代ビジネスリーダーズサミットでは 20 代の若手起業家等が 14 日～15 日にそれぞれ会合を開催し、[岸田総理のビデオメッセージ](#)を踏まえて議論を行って「[共同宣言](#)」をとりまとめ、16 日に共同議長の岸田総理とジョコ大統領に手交しました。

16 日の日 ASEAN 経済共創フォーラムでは、日本と ASEAN における共創促進のため、[岸田総理のビデオメッセージ](#)や各国閣僚の挨拶、官民のビジネスリーダー等による議論や ERIA セッション、約 70 件の MOU 署名が行われました。

私も特別首脳会議の準備の合間に六本木ヒルズのフォーラム会場に駆けつけ、ERIA セッションやアジア次世代リーダーとのネットワーキングランチで関係者にご挨拶し、日 ASEAN 共創のモメンタムと担い手の熱意を実感しました。

AN-JAPAN
COMMEMORATIVE SUMMIT
EMBER 2023 | TOKYO, JAPAN



日本 ASEAN 友好協力 50 周年特別首脳会議
(2023 年 12 月 17 日、写真：内閣広報室提供)

●日本 ASEAN 友好協力 50 周年特別首脳会議

12 月 16 日晚から、特別首脳会議の全体日程が始まりました（[動画](#)）。初日は迎賓館で[総理夫妻主催晩餐会](#)が催されました。岸田総理は冒頭に「『[信頼](#)』に基づく『[共創](#)』により目指す『[平和と繁栄](#)』」と題する挨拶で日本の思いを伝え、晩餐会では日本が誇る食文化である寿司の実演や、伝統工芸である飴細工の職人の精巧な技術が披露されました。

翌 17 日は朝から昼過ぎまでホテル・オークラ東京で[特別首脳会議が開催](#)され、（１）日 ASEAN 関係のレビュー、（２）平和と安定のためのパートナーと地域・国際情勢、（３）世代を超えた心と心のパートナー（ワーキングランチ）、（４）未来の経済・社会を共創するパートナーの 4 議題が討議された後、[共同ビジョン・ステートメント](#)と[実施計画](#)が採択されました。そして、[岸田総理](#)と[ジョコ大統領](#)による記者発表が行われ、日本側から [50 周年の成果概要](#)が公表されました。

夕刻には ASEAN 旗の色である赤黄青を用いた[東京タワーの点灯式典](#)が開催され、岸田内閣総理大臣夫妻、各国首脳夫妻、日 ASEAN 学生会議参加者、防衛大学校留学中の ASEAN 各国学生が参加しました。引き続き、[総理夫妻主催ガラディナー](#)が開催され、各国首脳やパートナーの他、政党関係者、関係団体、有識者、企業関係者及び文化人を含む約 200 名が参加して、日本の伝統から先端技術までをカバーする演奏・ダンスなどのパフォーマンスを楽しみました。



アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）首脳会合
（2023 年 12 月 18 日、写真：内閣広報室提供）

●アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）首脳会合

翌 18 日、岸田総理はこの特別首脳会議の機会を捉えて、首相官邸で[アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）首脳会合](#)を開催しました。岸田総理からは[冒頭発言](#)で、多様な道筋によるネットゼロという共通目標の達成や、脱炭素・経済成長・エネルギー安全保障の同時実現の重要性を発信し、日本の取組に触れつつ AZEC 構想を通じて日本の技術や経験を共有していく意思を表明しました。AZEC パートナー国首脳からは、AZEC の考え方への幅広い支持と AZEC の活動への高い期待が表明され、[「AZEC 首脳共同声明」](#)が採択されました。

引き続き、[経団連・日商共催昼食会](#)が開催され、ASEAN 側からは約 40 名、日本側からは約 80 名が参加して、[岸田総理](#)、ジョコ大統領、十倉経団連会頭、上野日商副会頭が冒頭挨拶を行いました。

そして、夕刻には皇居宮殿で[天皇皇后両陛下主催の茶会](#)が開催され、その様子は[国内](#)や[海外](#)でも広く伝えられました。

日 ASEAN 特別首脳会議の期間中、岸田総理や上川大臣は[二国間の首脳会談](#)や[外相会談](#)を行い、岸田夫人はパートナーズ・プログラムで首脳配偶者とともに[学生との懇談](#)や[能楽鑑賞](#)を行いました。また、上川大臣はルトノ・インドネシア外務大臣とともに[女性・平和・安全保障（WPS）に関する対話](#)を行いました。



タイ ASEAN 常駐代表主催・日 ASEAN 友好協力 50 周年祝賀夕食会
(2023 年 12 月 22 日、写真：タイ ASEAN 常駐代表部提供)

●信頼のパートナー

今回の大きな成果は、日 ASEAN 首脳が、[共同ビジョン・ステートメント](#)の副題にあるとおり「信頼のパートナー (Trusted Partners)」として、未来へのビジョンと具体的な行動計画を打ち出し、次の 50 年に向けて協力を深化させると確認したことだと思います。歴史を振り返り未来を展望する 50 周年の機会に、「心と心のふれ合う相互信頼関係」の大切さを改めて確認し合い、広く内外に発信できたことは本当に良かったと感じています。

今回、[多くのイニシアティブ](#)が打ち出されました。これを最大限に生かして、50 周年を起点に幅広い分野の関係者と一緒に新たな取組を進め、日 ASEAN 双方の社会の隅々まで、そしてインド太平洋と世界に向けて、信頼と共創の輪と成果を広げていきたいと思っています。

特別首脳会議後にジャカルタで、ASEAN の対日調整国タイのウラワディ常駐代表主催で[日 ASEAN 友好協力 50 周年祝賀夕食会](#)が開催されました。お世話になった ASEAN 各国常駐代表を始め関係者にお礼を伝えるとともに、成果を一緒にお祝いすることができました。ASEAN 大使通信の読者の皆さんにも、ご支援とご協力に心から感謝申し上げます。信頼の歴史を基盤に、次の 50 年に向けて、共に未来を創っていければ幸いです。楽しい年末年始をお過ごしください！

ASEAN 代表部大使
紀谷昌彦